シリコンハードディスク

SHD-UH シリーズ

ユーザーズマニュアル

Q&A インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C: ハードディスク
　D:CD-ROM ドライブ

・文中［　］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
　・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
　・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1

各部の名称

各部の名称を説明しています。

各部の名称

2 セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

セットアップ

別紙「はじめにお読みください」の手順で本製品をパソコンに取り付けてください。自動的にOS 標準のドライバがインストールされ、本製品が認識されます。

セットアップ時の注意

Mac OS、Windows 共通の注意

- **本製品は、出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）で論理フォーマットされています。**
  Windows や Mac OS X 10.4 以降で使用される場合は、そのままお使いください。
  Mac OS X 10.3 以前および Mac OS 9 をお使いの場合は、Mac OS 拡張形式で初期化してください。

- **本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用の前に初期化（フォーマット）してください。**

  ※ **本製品は複数の領域に分けずに使用することをお勧めします。複数の領域に分けると、写真等のファイルを複数書き込む場合、時間がかかることがあります。**

Windows の注意

- **Windows2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。**
  「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

次のページへ続く

●本製品のドライバがインストールされると、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

Windows Vista .... ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→[管理] をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら [続行] をクリック→ [デバイスマネージャ] をクリック

WindowsXP.................................. ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows2000 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

WindowsMe.................................. ［マイ コンピュータ］を右クリック→［プロパティ］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows Vista	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名
WindowsXP/2000	ディスクドライブ	ドライブユニット名　USB Device
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
WindowsMe	ディスクドライブ	ドライブユニット名
	ユニバーサルシリアルバスコントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス ※緑色に白字で「?」が表示されますが、これは Windows 付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのままご使用ください。
	記憶装置	USB ディスク

Mac OS の注意

● 本製品をパソコンに接続すると、アイコン（ または ）がデスクトップに追加されます。

3 使いかた

使用上の注意

⚠注意 ・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、シリコンハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
・本製品のアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

● MacOS X 10.3 以前や Mac OS 9 をご使用の方は、本製品を使用する前に必ず初期化（フォーマット）してください。【P10】

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも本製品を取り外しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P7「本製品の取り外しかた」】

⚠注意 本製品にアクセスしているとき（アクセスランプ点滅しているとき）は、絶対に本製品を取り外さないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。

● 複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品に物を立てかけないでください。
故障の原因となる恐れがあります。

● Windows Vista/XP 搭載のパソコンで使用する場合
本製品を USB1.1 準拠の USB コネクタに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

● FAT32 形式のディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。Windows Vista/XP/2000 や MacOS をお使いの場合には、NTFS 形式や MacOS 拡張形式で本製品を初期化（フォーマット）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

● WindowsMe 付属のドライブスペース 3 は使用しないでください。
パソコンの動作が不安定になる恐れがあります。

● Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。
取り外さないとリカバリできないことがあります。

● MS-DOS プロンプトでのファイル操作（フォーマット、コピーなど）は行わないでください 。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチが ON のときは、次の手順で本製品を取り外します。

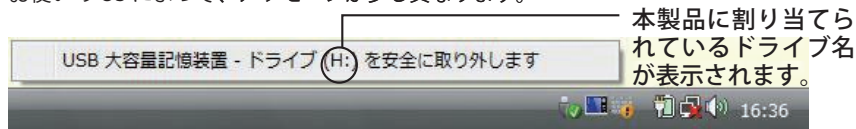
メモ **パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。**

Windows Vista/XP/2000

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を例に使用しています。**
NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコン (Windows Vista) / （Windows XP）/ （Windows 2000）をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置（デバイス） - ドライブ（X:）を安全に取り外します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。

⚠注意 **TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「TurboUSB」と表示されます。**

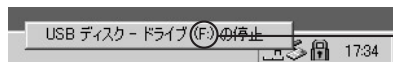
3 [USB 大容量記憶装置（デバイス）は安全に取り外すことができます。] と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

メモ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

WindowsMe

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB ディスク - ドライブ (X:) の停止] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

4 本製品を取り外します。

Macintosh

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 本製品のアクセスランプが点滅していないことを確認し、デスクトップにある本製品のアイコン（ または ）をゴミ箱（ または ）にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

左の画面は、Mac OS Xの例です。Mac OS Xの場合、本製品のアイコンをドラッグすると、ゴミ箱のアイコンが に変わります。

2 本製品を取り外します。

以上で、本製品の取り外しは完了です。

3 使いかた

4 フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

ご注意

● **Mac OS Ｘ 10.3 以前や Mac OS 9 をお使いの場合は、必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。**

Mac OS Ｘ 10.3 以前や Mac OS 9 をお使いの場合は､出荷時状態（FAT32 形式）で使用できません。必ず Mac OS 拡張形式で初期化してください。

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

● **フォーマットすると、本製品内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、本製品の使用環境をもう一度よく確認してください。**

フォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

次へ

お使いの OS に応じて、次のページを参照してください。

- Windows ……………………………………【P11】
- Mac OS Ｘ 10.3 以降……………………………【P17】
- Mac OS Ｘ 10.1.0 〜 10.2.8 ………………………【P21】
- Mac OS 9.0.4 〜 9.2.2 ……………………………【P23】

Windows

通常は FAT32 形式でフォーマットしてください。Windows Vista/XP/2000 で 4 GB 以上のファイルを保存される場合のみ、P13 を参照して NTFS 形式でフォーマットしてください。

⚠注意 Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合でも、FAT32 形式でフォーマットすることをお勧めします。NTFS 形式でフォーマットすれば 4GB 以上のファイルも保存できようになりますが、Windows Me や Mac OS X 10.4 以降では使用できなくなります。また、写真等のファイルを複数書き込む場合、時間がかかることがあります。

フォーマット方法（FAT32 形式でのフォーマット）

⚠注意 本製品に保存できる 1 ファイルの最大容量は、4GB です（FAT32 形式の制限です）。Windows Vitsa/XP/2000 で 4GB 以上のファイルを保存する場合は、P13「Windows Vista/XP/2000 で 4GB 以上のファイルを保存する場合」の手順でフォーマットしてください。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。
フォーマットには DISK FORMATTER を使用します。以下の手順でインストールした後、フォーマットしてください。

■ DISK FORMATTER をインストールする

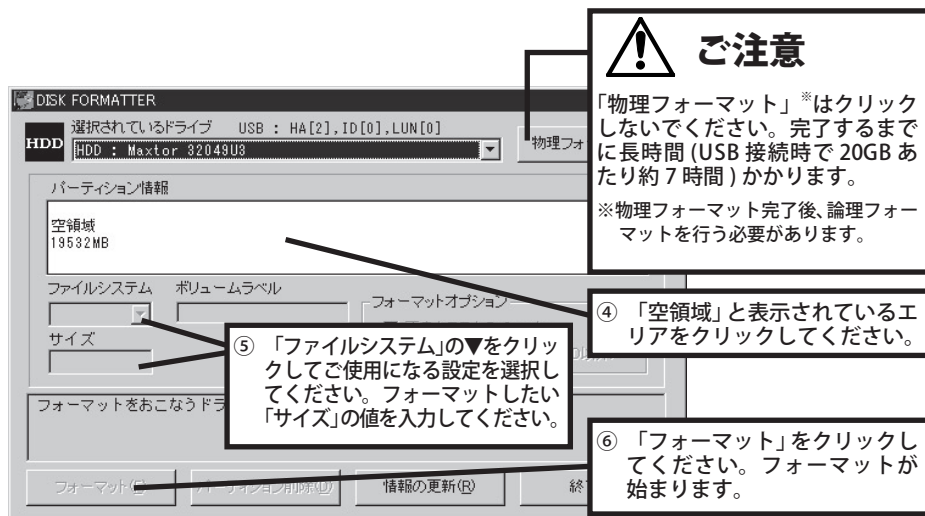
別紙「はじめにお読みください」に記載の手順でインストールしてください。

■フォーマットする

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

［スタート］－［（すべての）プログラム］－［BUFFALO］－［DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択し、Disk Formatter を起動します。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、次の手順に進みます。

次のページへ続く

4 フォーマット

「フォーマットは正常に終了しました」と表示されたら、[OK] をクリックし、P7 の手順にて、いったん本製品をパソコンから取り外します。
再度ケーブルを接続すると、フォーマットしたドライブが有効になります。

⚠注意
- **フォーマットするドライブを間違えないでください。**
- **FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。**

メモ
- 2047MB を超える容量を 1 つの領域として確保する場合は、［ファイルシステム］に［FAT32］を選択してください。［FAT16］では、1 つの領域は最大 2047MB となります。
- Disk Formatter に関する詳細は、「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル 」（PDF ファイル）を参照してください。

Windows Vista/XP/2000 で 4GB 以上のファイルを保存する場合（NTFS 形式でのフォーマット）

以下の手順でフォーマットしてください。

⚠注意 ・**本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。**
※ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。

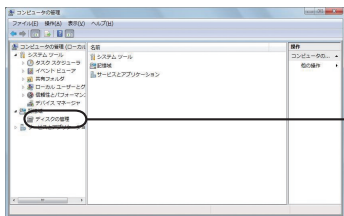
・**ここでは、NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。FAT32 形式でフォーマットするときは、P11 を参照してください。**

1 **パソコンを起動し、コンピュータの管理者権限 (Administrator など) があるユーザーでログオンします。**

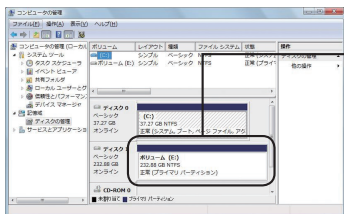
2 **［スタート］をクリック→［コンピュータ（マイコンピュータ）］を右クリック（Windows 2000 の場合は、デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリック）し、［管理］をクリックします。**

以下の画面が表示されたら？

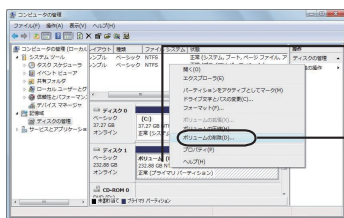
Windows Vista の場合、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、［続行］をクリックしてください。

3

4

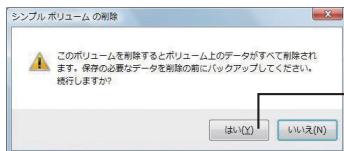
本製品に割り当てられているドライブを確認します。

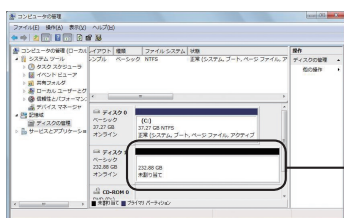
※ドライブを間違えると、選択したドライブ内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

⚠注意 **本製品に割り当てられたドライブが「未割り当て」と表示されている場合は、手順 8 へ進んでください。**

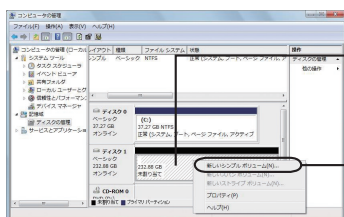
次のページへ続く

5

① 本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

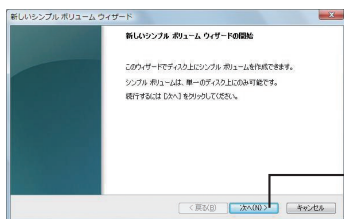
② [ボリュームの削除] をクリックします。

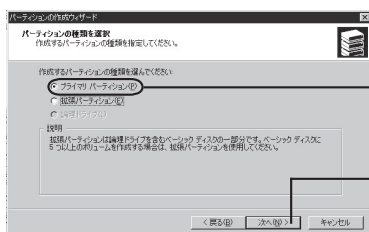
6

[はい] をクリックします。

7

未割り当て領域が表示されます。

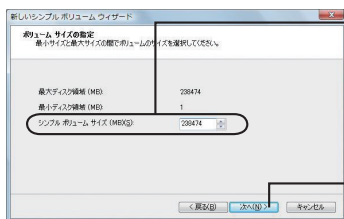
8

① 未割り当て領域を右クリックします。

② ［新しいシンプルボリューム］（Windows XP の場合は［新しいパーティション］、Windows 2000 の場合は［パーティションの作成］）をクリックします。

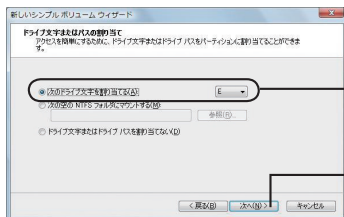
9

［次へ］をクリックします。

以下の画面が表示されたときは？

① ［プライマリ パーティション］をクリックして（・）を付けます。

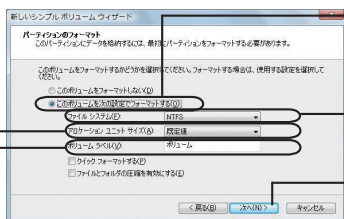
② ［次へ］をクリックします。

10

① ［シンプルボリューム サイズ］（［パーティションサイズ］または［使用するディスク領域］）でサイズを指定します。
※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

② ［次へ］をクリックします。

11

① ［次のドライブ文字を割り当てる］をクリックし、ドライブ文字を指定します。
※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ］をクリックします。

12

① ［このボリューム（パーティション）を次（以下）の設定でフォーマットする］をクリックし、（・）を付けます。

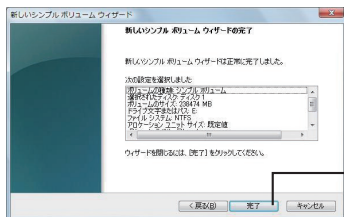
② ［NTFS］を選択します。

③ 各項目を設定したら、［次へ］をクリックします。

必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

［アロケーションユニットサイズ］は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

⚠注意 **本製品にパーティションが 1 つも存在しないときは、［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けないでください。チェックマーク（✓）を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。**

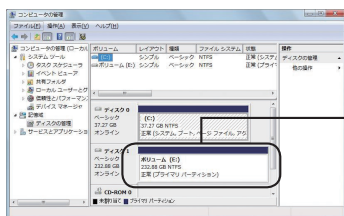
13

［完了］をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

メモ フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の［フォーマットの中止］をクリックします。

4 フォーマット

次のページへ続く

14

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

1 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット］を選択します。

2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[OK］をクリックします。

⚠注意 **［クイックフォーマットする］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。**

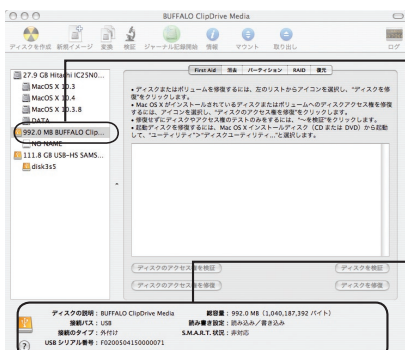
3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

メモ 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 10 でサイズを指定し、以下手順 14 までを作成する数だけ繰り返します。

Mac OS X 10.3 以降

Mac OS X のディスクユーティリティを使って本製品をフォーマットするときの手順を説明します。Mac OS のみで使用する場合は Mac OS 拡張形式で初期化します。Mac OS X 10.4 以降をお使いで Windows でも本製品を使用される場合は、MS-DOS ファイルシステム形式で初期化します。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**
- **本書では、Mac OS X 10.4 の画面を例に説明しています。**

Mac OS のみで使用される場合

本製品を Mac OS 拡張形式で初期化します。

⚠注意 **Mac OS X 10.4 以降でのみ本製品を使用する場合は、P19「Windows 併用される場合（Mac OS X 10.4 以降のみ）」の手順で初期化することをお勧めします。以下の方法で初期化すると、写真データ等のファイルを複数書き込む場合に、時間がかかることがあります。**

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

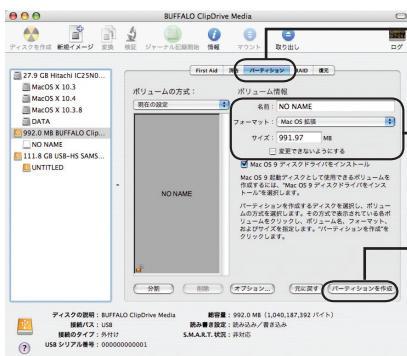
3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

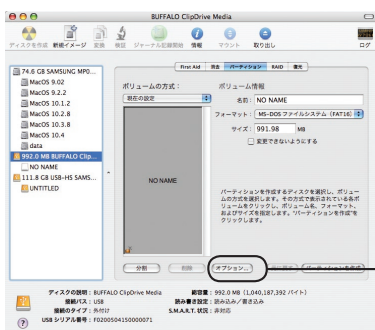
5

① ［パーティション］をクリックします。

②ボリューム情報を設定します。フォーマットには、[Mac OS 拡張] を選択してください。

③ ［パーティションを作成］をクリックします。

ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

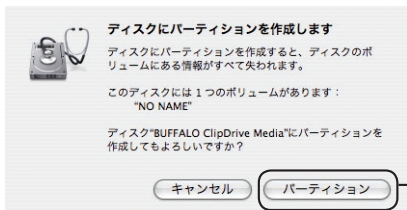
以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1

[オプション] をクリックします。

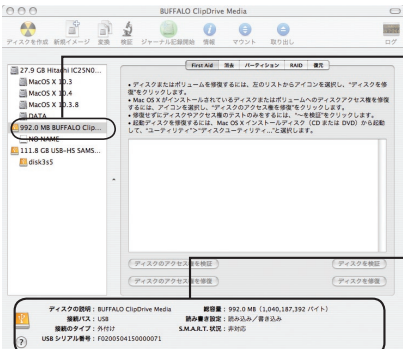
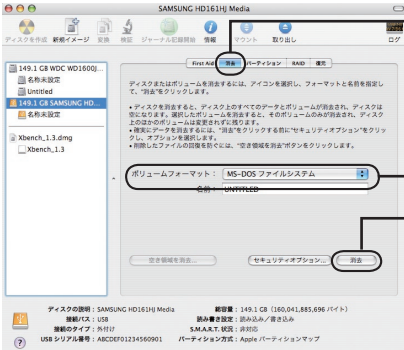
2

① ［Apple パーティション方式］を選択します。

② ［OK］をクリックします。

6

[パーティション]をクリックします。

以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Windows と併用される場合（Mac OS X 10.4 以降のみ）

本製品を MS-DOS ファイルシステム形式で初期化します。この手順で初期化すると、Windows でも本製品を使用することができますが、4GB 以上のファイルを保存できません。また、本製品がマウントされるのに 10 秒程度かかることがあります。

⚠注意 以下の手順で初期化すると、Mac OS X 10.3 以前や Mac OS 9 では使用できません。Mac OS X 10.3 以前や Mac OS 9 でも使用する場合は、P17「Mac OS のみで使用される場合」の手順で初期化してください。

1　デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。

2　[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。

3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5

① ［消去］をクリックします。

②ボリュームフォーマットに [MS-DOS ファイルシステム] を選択します。

③ ［消去］をクリックします。

6

以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

Mac OS X 10.1.0 ～ 10.2.8

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

⚠注意
- **フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**

1 **デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。**

2 **[Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。**

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［アプリケーション］フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。)

3 **［Disk Utility］をダブルクリックします。**

(Mac OS X 10.2 以降の場合は、［ディスクユーティリティ] をダブルクリックします。)

4

※画面は Mac OS X 10.2 の例です。

次のページへ続く

5 Mac OS X 10.1 の画面

Mac OS X 10.2 以降の画面

※ 設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。
また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

6 「（略）この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか？」と表示されたら、[パーティション] をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2

ここでは例として、本製品を MacOS 拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

⚠注意
- **フォーマット（初期化）するときは、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。**
- **Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 では本製品を複数の領域に分けて使用することはできません。**

1 **[アップルメニュー] ─ [コントロールパネル] ─ [機能拡張マネージャ] をクリックします。**

2

3 **パソコンが再起動したら、本製品を接続します。**

> **「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか？」というメッセージが表示された場合**
>
> ディスクを初期化します。手順 6 へ進んでください。

4 **デスクトップ上にある本製品のディスクアイコンをクリックして選択します。**

5 **画面上部にあるメニューバーの［特別］をクリックし、［ディスクの初期化 ］をクリックします。**

6 **「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に [Mac OS 拡張] を選択して［初期化］をクリックします。**

本製品の初期化が始まります。

7 **[アップルメニュー] ─ [コントロールパネル] ─ [機能拡張マネージャ] をクリックします。**

8 **「File Exchange」の左の [□] をクリックして [×] にし、[再起動] をクリックします。**

パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

本製品に蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量のディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 本製品を使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- DVD-R/RW
- DVD+R/RW
- DVD-RAM
- CD-R/RW
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバ

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元の場所に復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

メンテナンス

OS 付属のツールを使用したメンテナンスについて説明します。

エラーチェック

Windows や Mac OS Xには、ディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。本製品を安全に使用するために、定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ
- エラーのチェック方法は、Windows や Mac OS Xのヘルプやマニュアルを参照してください。
- Mac OS 9 には、エラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

最適化

本製品を長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したファイルを最適化するためのツールが付属しています。本製品を快適に使用するために、定期的に最適化することをおすすめします。

メモ
- 最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。
- Macintosh には、最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

5
付録

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。